

令和5年度(1・2学年用)

教科 数学

科目 数学B

教科: 数学

科目: 数学B

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組～ 3組

教科担当者: (1・2・3組: 星谷)

使用教科書: (高等学校数学B(数研出版) 4プロセス数学B(数研出版))

教科 数学

の目標:

【知識・技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標:

| 【知識・技能】 | 【思考力・判断力・表現力】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---|--|--|
| 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元 | 指導項目・内容 | 知 | 思 | 主 | 記 時 数 | | |
|-------------|--|---|---|---|-------------|---|---|
| 1 学 期 | 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 ①数列と一般項 ②等差数列 ③等差数列の和 ④等比数列 ⑤等比数列の和 第2節 いろいろな数列 ①和の記号Σ ②階差数列 ③いろいろな数列の和 | ○ | ○ | ○ | 17 | | |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | 1 |
| | 第3節 漸化式と数学的帰納法 ①漸化式 ②数学的帰納法 | | | | ○ | ○ | ○ |
| 定期考査 | | ○ | ○ | 1 | | | |
| 2 学 期 | 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 ①確率変数と確率分布 ②確率変数の期待値と分散 ③確率変数の和と積 ④二項定理 ⑤正規分布 | ○ | ○ | ○ | 20 | | |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | 1 |
| | 第2節 統計的な推測 ①母集団と標本 ②標本平均の分布 ③推定 ④仮説検定 | | | | ○ | ○ | ○ |
| 定期考査 | | ○ | ○ | 1 | | | |
| 3 学 期 | 第3章 数学と社会生活 ①数学を活用した問題解決 ②社会の中にある数学 ③変化をとらえる～移動平均～ ④変化をとらえる～回帰分析～ | ○ | ○ | ○ | 30 | | |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | 1 |